

ジェンダー平等に向けた課題と展望：ユース世代の視点から ー政治分野におけるジェンダー比率の是正に向けてー

第69回国連女性の地位委員会(CSW)等について聞く会
2025年2月26日(水)

鈴木りゆか

CSW68日本政府代表団ユース代表／日本BPW連合会 会員

PRIVILEGE WALKについて: 属性による社会的格差を体感するワークショップ

動画の中で聞かれる質問の例:

- 条件1: 両親が離婚していない
- 条件2: 父親(役)のいる家庭で育った
- 条件3: 私立学校に通ったことがある
- 条件4: 無料の家庭教師がいた
- 条件5: 携帯電話を止められる心配をしたことがない
- 条件6: 家庭の家計を助ける必要がなかった
- 条件7: スポーツの特待生だからという理由以外で大学の学費を自分で払わなくてもいい
- 条件8: 食べ物の心配をしたことがない





わたしの話をします

フェミニスト立場理論 (FEMINIST STANDPOINT THEORY) について

「知というものは常に知る主体の位置／立場／視点 (Standpoint) に媒介されている」 (辻, 2010:131)

- 人びとは、自らの属性 (ジェンダー、性的指向、国籍、人種、民族、社会階級、身体・精神、学歴、門地など) による社会的立場にもとづいて、世界を認識する

→ 社会的に周縁化される人びとの経験には、不公平な社会の皺寄せが色濃く反映される

→ 抑圧されている人びとは、複雑化した社会構造による弊害を現実社会にて体感しそれを理解している

PRIVILEGE WALKから言えること: 「後ろから走る人 (= 社会の中で周縁化されている人びと) は、「自分の前を走る人 (= 特権層)」が「だれ」であり「どれだけの数」いるのかがよく分かるが、「前を走る人びと」は後ろを振り返らない限り、自分たちの後ろを「だれ」が走るのかは分からない。

辻由希 (2010). 「ジェンダーと代表/表象 (representation) —『月刊自由民主』と衆議院選挙公報にみる女性の政治的代表的代表—」. 年報政治学. 61巻, 2号, pp.127-150.

日本の政治分野におけるジェンダーバランスの現在地

- ジェンダーギャップ指数(GGI) (2024)

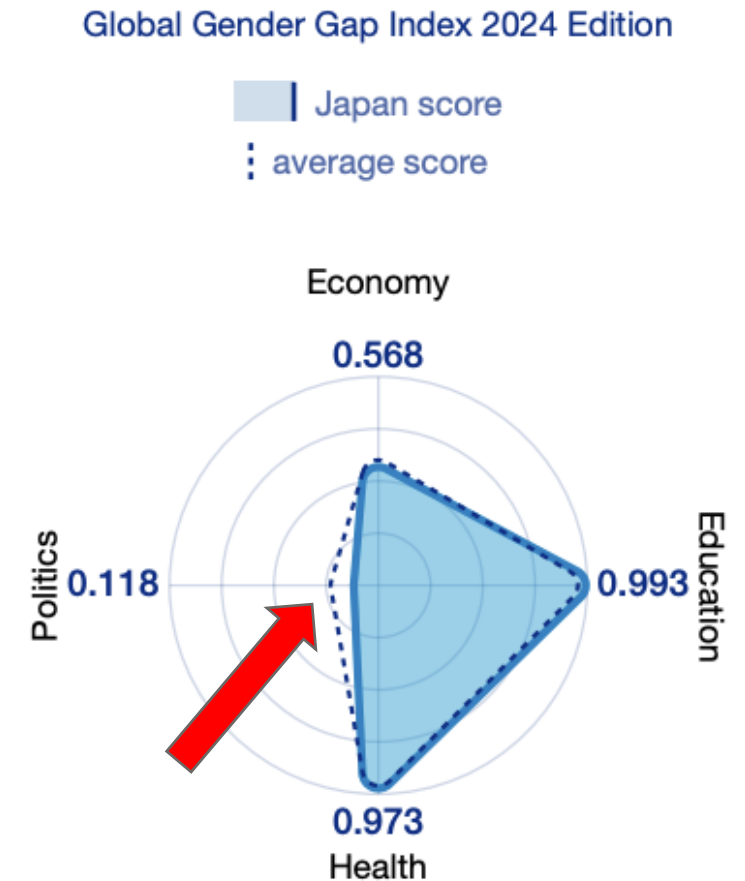
146カ国中118位

- 国会議員の男女比率(2024)

146カ国中129位

- 衆議院の女性議員比率 15.7% (2024年11月現在)
- 参議院の女性議員比率 25.4% (2025年2月現在)

* 衆議院・参議院HPより



出典 : World Economic Forum (2024). Global Gender Gap 2024: Insight Report June 2024.

会派別 国会議員の女性議員比率

現在の与党のジェンダー比率が女性議員比率の引き下げの要因となっている

衆議院の女性議員比率 全体 15.7% (2024年11月現在)

自民・ 無所属 の会	立憲・ 無所属	維新	国民・ 無所属 クラブ	公明	れい新	共産	有志	参政	保守	無所属
9.7%	20.3%	10.5%	21.4%	16.7%	44.4%	37.5%	0%	66.7%	33.3%	0%

参議院の女性議員比率 全体 25.4% (2025年2月現在)

自民	立憲・社 民・無所 属	公明	維新	国民・新 緑風会	共産	れい新	沖縄	NHK	会派に 属しない 議員
19.5%	43.9%	11.1%	27.8%	33.3%	36.4%	20.0%	0%	0%	44.4%

* 衆議院HPのデータを基に筆者作成

国会議員の年齢比率

これから数々の異なるライフコースを歩んでいく若年層の政治的リーダーが不在

衆議院議員の年齢比率(2024年11月現在)

被選挙権年齢	平均年齢	U30議員比率	U40議員比率	U45議員比率
25歳	55.6歳	0.86%	7.74%	18.71%

参議院議員の年齢比率(2022年8月現在)

被選挙権年齢	平均年齢	U30議員比率	U40議員比率	U45議員比率
30歳	57.22歳	0.00%	3.69%	10.25%

世界の国々の選挙権年齢と被選挙権年齢（2025年現在）

選挙権年齢	国の数
0 - 17	11
18	160
19 -24	11
25 – 29	1

被選挙権年齢	国の数
0 - 17	2
18	63
19 -24	62
25 – 29	52
30+	8

* IPU Parline (<https://data.ipu.org/>) のデータを基に筆者作成

「だれ」が私や私の大切な人の声を代弁してくれるのか？

フェミニスト立場理論：

「知というものは常に知る主体の位置／立場／視点 (Standpoint) に媒介されている」(辻, 2010:131)

- 女性議員比率 衆議院15.7%、参議院25.4%
- 30歳未満の衆議院議員の割合 0.86%

例) 20代／女性, etc.

自分と類似した属性をもつ代表者が不在であり、

自分の声や想いが意思決定の場に反映されているとは思えない

私と私の大切な人の問題意識、社会ないし政治の課題

- 選択的夫婦別姓が認められていない
- 同性同士の結婚ができない
- 男性稼ぎ主モデルを基調とした既存の制度・政策
- 女性に偏る家事や育児の負担
- ケア労働を担う人の賃金が低い
- 妊娠・出産、育児とキャリア形成の両立の難しさ
- 性と生殖に関する健康と権利が十分に尊重されていない
- 痴漢や盗撮の被害者となりうる側が“気をつけないといけない”理不尽な社会
- 日常的に受ける若年女性に対するマイクロアグレッション

PRIVILEGE WALKにて「私たち」の前を走る、国会の議席のほとんどを占める「特権的な属性」(*)をもつリーダーたちは、彼らの後ろを走る「私たち」の姿をきちんと認識してくれているのだろうか？

* 高学歴者、高収入者、中高年男性、シスジェンダー、異性愛者、障がいがない、など

様々な年齢層、様々なジェンダーのリーダーが必要な理由

- 若い世代の政治的リーダーの増加により、ファミリーフレンドリーな支出が増える傾向がある
 - 20～40代の自治体の首長は、50歳以上の首長に比べて、こども福祉への長期的な投資を増やす傾向があるが、年長の候補者が当選した場合は、児童福祉への支出を減らす傾向がある(McClean, 2021:17-22)。
- ジェンダーの違いが各々が注力する政策分野の相違に影響を与える傾向がある
 - 女性議員が最も注力する政策課題の上位には、女性や家族に関する問題など、ジェンダー課題と密接に関わる分野(例:「女性に関する課題」「ジェンダー平等に関する課題」「家族に関する課題」など)が占めたが、男性議員に関しては、ジェンダーにまつわる政策課題の優先順位は下位を占めた(Union, I. P., 2008:45)。

➤ 年齢やジェンダーの違いが政策立案のアウトプットに異なる影響を与える可能性が高い

McClean, C. (2021). DOES THE UNDERREPRESENTATION OF YOUNG PEOPLE IN POLITICAL INSTITUTIONS MATTER FOR SOCIAL SPENDING?. Havard Program on U.S.-Japan Relations Occasional Paper Series 2021-04.
Union, I. P. (2008). Equality in Politics: A Survey of Women and Men in Parliaments.

おわりに

来る参院選では、特に政権与党の本気度を見たいです。

- 日本の議会でも早く「パリテ」の実現を！
 - 日本においても、首相の判断により、過去に事実上のクオータが実施されて多くの女性議員が誕生した事例があります。要するに、時の政権におけるリーダーの「決め」次第で、女性の当選者数を増やすことは現実的に可能であると考えられます。
- インターセクショナルな視点をもって、様々な属性や経験をもつ政治的リーダーの確保を。
 - 同時に少数派の議員らを標的とする政界内外からのハラスメントの防止に向けた対策の強化を求めます。
- 若い世代の政治参画に向けて、「被選挙権年齢の引き下げ」を！
 - 日本の未来を担うユースが自分が住む街や国の仕組みをデザインできる社会に！

CSW68ユース報告会 活動報告書

2024年9月29日(日) 15:00~17:00 (JST)
オンライン (zoom) による開催

CSW日本ユース協議会



2025年2月末～3月上旬

公開予定